

令和2年度学校教育自己診断(分析と対策)

学校教育自己診断の結果と分析[令和2年12月実施]

・生徒と保護者に置いて学校教育自己診断アンケートで「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせみると

増加傾向にあるものは、

「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」
「教え方に様々な工夫をしている先生が多い」
「授業内容は難しいが、進路実現に役立つと思う。」
「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」

生徒
昨年度81.5%→本年度88.3%
昨年度93.1%→本年度96.0%
昨年度78.7%→本年度81.9%
昨年度82.8%→本年度85.7%

保護者
昨年度72.8%→本年度73.8%
昨年度49.9%→本年度52.5%
昨年度81.1%→本年度82.2%

の4項目で、すべて80%以上となっており、
めざす学校像「教科指導および進路指導の強化、さらに部活動や学校行事を通して生徒の進路選択肢を増やし、将来幅広い分野で活躍できる人材を育成する。」
の実現に向けて着実に歩んでいると思われる。また、総合的に見て生徒の満足度は高いものと思われる。

逆に減少傾向となっているものは、

「遠足・体育祭・文化祭・修学旅行などは、楽しく行えるように工夫されている。」
「共生推進教室の生徒とともに様々な活動に参加する機会がある。」
「近くの学校との交流や国際交流、ボランティア活動等に参加する機会がある。」

生徒
昨年度93.4%→本年度85.7%
昨年度52.0%→本年度45.9%
昨年度37.3%→本年度25.1%

保護者
昨年度93.1%→本年度86.4%
昨年度35.0%→本年度31.5%

の3項目であるが、
改善策を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止による影響で、減少したものと考えている。
来年度にはぜひ取り戻したい。

・特に保護者に置いては

「学校はホームページの更新やメールリスト等で学校の情報を伝えている」

保護者
昨年度86.5%→本年度88.8%

学校と保護者とのコミュニケーションがよい方向へと進んでいると思われ今後も続けていきたい。

・教職員においては

「規律のある雰囲気の中で授業が行われており、自分はルールを守っていない生徒をきちんと注意している。」

教職員

89.60%

「学校は、生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。」

85.10%

「学校は、教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への発信に努めている。」

83.60%

「校長は自らの教育方針や学校運営についての考え方を明らかにしている。」

80.60%

規律ある雰囲気の中で、生徒の進路実現に役立つような授業の内容が80%を超えており、
また、教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への発信に努めている内容も80%を超えており

このことから、学校と保護者とのコミュニケーションが取れていると思われ、今後も取組みを続けたいと思われる。